

連合会だより 62号

226 団体
91,850 世帯
町田市原町田 4-9-8
042-722-4262
発行人 高橋 倫正

2014 年度第 2 回会長研修会開催される！

平成 27 年 2 月 7 日（土）当連合会主催の役員及び会長研修会が町田市役所防災災害対策本部室にて開催されました。

初めに高橋町田市町内会・自治会連合会長から、今回の研修会はワークショップ方式による新しい試みで行うのでしっかりやってほしいとの挨拶がありました。今回の研修会はコーディネーターとして山口市から平田隆之氏を招いて行われました。（平田氏は NPO 法人市民プロデュースの理事長をしておられます。）

平田隆之氏より『考えてみよう、地域力。いま各地で行われていること』とのお話がありました。

休憩時間後、5～6 人のグループに分かれて、本日のメインテーマである『町内会・自治会が抱えている様々な課題を出し合って解決策を探ろう！』ということについて行いました。



(研修会場)

【ワークショップ】

1. アイスブレイク

ワークショップをはじめるにあたり、皆で最近嬉しかったことを話し合いました。皆の緊張が溶けたようです。

2. グループワーク 1

①フセンに書く

グループワーク 1 としてグループの一人一人に自分の地区の課題を 3 点ほどあげる。

(各自の町内会・自治会における問題をフセンに書く)



②グループで共有

次にそれぞれの課題をいくつかに集約して A4 の用紙にまとめタイトル付けを行う。

(例) 高齢化対策、自治会役員のなり手がいない、防犯対策 etc



(フセンをまとめて課題に整理)

③ベスト 2 を決める。

上記の集約した課題のうちベスト 2 を決め、模造紙に書き込む。次に一人を残して席替えをして全く新しいメンバーでグループワーク 2 として課題の解決方法を見つける。

3. グループワーク 2

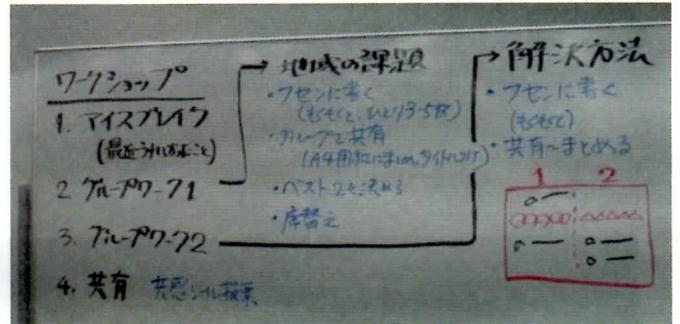
①解決方法をフセンに書く。

② 2 つの課題のところに解決方法を書き込む。

4. 共有

①共感できる解決方法にシールを貼る。

全員でシールを 3 枚持ち、全ての GR のところをまわり、最も共感できる解決方法のところにシールを貼る。



(ワークショップの進め方)

【あとがき】

町内会・自治会の会長の参加による最も現実的な喫緊の課題を、全員であげ、2 つに絞込み、その問題を席替えすることにより色々な視点から解決方法を探りまとめあげました。さらに、解決方法を客観的に選択するという手法は素晴らしいと思いました。何よりも皆の真剣な眼差しが素敵でした。

(編集委員 秋元富美生)

「町田第二地区協議会」の設立 総会開催される！

町田市は、2013年12月に町田市「協働による地域社会づくり」推進計画を策定し、それにもとづいて発行された冊子の内容は、

第1章 推進計画作成の計画

第2章 「地域社会づくりの推進体制」

第3章 今後の展開スケジュール他

これが、「地区協議会」の骨子となるもので、町田第二地区町内会自治会連合会、青少年健全育成地区委員会、および民生委員児童委員協議会の三団体を母体として、「町田第二地区協議会」の発足に向けて、市民協働推進課と共に2014年2月より協議が進められてきました。



(設立総会風景)

この「地区協議会」が目指すものは、今まで単独の組織ごとにそれぞれ実施してきた活動を体系的に整理して、「地区協議会」という大きな中での組織的に実行しようというものです。



従って地域の各学校、福祉関連の各組織、消防団等の団体等にも働き掛けて参加していただき、それらが一体となり活動することによってより無駄のない効率的な効果を生み出すための施策です。

本会は、町田第二地区町内会自治会連合会の会長がリーダーとなり、現在まで十数回にわたって協議を進め、2014年12月17日(水)午後5時から町田市役所市民協働応援ルームにおいて「町田第二地区協議会」設立総会を、石阪市長に出席いただき、開催いたしました。



(設立総会市長挨拶)

本年度の活動方針、予算等も無事承認され、いよいよ第一歩を踏み出しました。

これからは、活動方針に従い、具体的な内容について協議を進め、この地域に「町田第二地区協議会」という組織を大勢の方々に知っていただき、さらには地域の方々に喜んでいただけるような活動を目指します。



(編集委員 新井 邦夫)